



住所：東京都中央区日本橋大伝馬町13-8  
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階  
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

2021年5月 診療カレンダー

- 1. 内科・生活習慣病
- 2. 心臓病・糖尿病
- 3. 睡眠時無呼吸症
- 4. 土曜日診療
- 5. 発熱外来



・コロナワクチン  
しばらくお待ち  
ください  
・健診はじまります  
・PayPay導入しま  
した



ホームページ  
院長ブログ公開中

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	1/8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

休診日 午後休診 18時最終受付

一般外来	9:30-12:00	16:00-19:00
発熱外来	12:00-13:00	15:30-16:00

「今月の言葉」  
大切なものは目に見えないからね  
（「星の王子さま」より）

Le Petit Prince



お知らせ

13日(木) 18時最終受付

さいとう内科・循環器クリニック  
LINE公式アカウント

@237gsvtx



医療とデジタル技術

現代社会においてAIやITなどのデジタル技術は我々の社会生活に大きな影響を与えています。これまで医療の分野ではデジタル技術の遅れが指摘されてきましたが、新型コロナウイルス感染症によって医療の世界でも、否応なしにデジタル技術の波が押し寄せ、これを導入せざるを得ない状況となってきました。

私の場合、2年前にクリニックを開業した当初、会計にクレジットカード決済を導入しようとしたところ、わりと否定的な意見が多く、しばらくその導入を見合わせたことがありました。また当院ではクラウドの電子カルテやWEB予約システムなどを導入していますが、いまだにカルテは紙カルテで十分、予約システムは不要で、従来どおり来院された患者さんを受付の順番に診療するほうが良いという意見が根強く残っているように思います。

以前、私が東大病院にいた頃、外来カルテは長い間、すべてが紙に手書きであり、診察前にカルテ室から担当者がワゴンにカルテを積み、それぞれの診察室にカルテを運び入れ、それを医師が使用していました。同じ患者さんが別の科を受診するときは、カルテ係がそれを取りにきてまたワゴンに積んで運んでいくという何ともアナログな運用をしていました。その後、外来も電子カルテが導入されることになり、私は大いに歓迎し喜んだのですが、意外にも多くの医師が電子カルテの入力が面倒だ、前のほうがよかったと不平を口にしていたのを覚えています。ちなみに当時の東大病院では外来のカルテをカルテ室から探し出し、搬入するのは若い医師の担当でしたが、それも今ではすっかり昔ばなしです。

さて、新型コロナウイルス感染症により、病院ではオンライン診療が解禁となりました。スマホの画面越しに患者さんと対面し診療を行なうもので、当院でも昨年より導入しております。私はオンライン診療については前向きに取り組んでおりますが、そのシステムの流れはかなりアナログです。オンライン診療が終わると患者さんが希望される薬局に急いで電話をかけ、「処方箋」を薬局あてにFAXし「処方箋」を封筒に入れて薬局あてに郵送するという、従来の診療よりも事務負担は増しますが、保険点数は従来の点数より低く設定されています。

日本ではデジタル技術の進歩を歓迎し、利用をしてみようと思いで飛びつく人もいれば逆に懐疑的または否定的な人も多いように感じます。

しかし、このたびの新型コロナウイルスの蔓延に対する日本政府の対応の遅れや運用の不具合が社会や行政のデジタル化の遅れに起因することが明らかとなり、ようやく我が国でもデジタル化の推進に向けて動き出したようです。

日本と対照的に新型コロナウイルスの対応で一躍脚光を浴びた国はなんといっても台湾でしょう。特に台湾のデジタル担当の政務委員を務めているオードリー・タン氏は、新型コロナウイルスの台湾におけるマスクマップの作製やマスクの配給アプリなどのマネジメントで大変有名になりました。私は当初オードリー・タン氏はアプリやAIなどの開発を担っている技術的にマニアックな人物だと思っていたのですが、彼女(彼)の著書『オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る』(プレジデント社)を読んで印象がかなり変わりました。彼女(彼)はもちろんAIなどのデジタル技術についての知識は大変豊富でまさにIT業界の天才だと思えますが、その知識をどのように社会(民主主義)に広く生かしていくかを常に深く考え、将来的なビジョンを描いているのです。その哲学的な物の考え方に感銘を受けました。

一方で我々はなぜデジタル技術に疎くなってしまっているのでしょうか？Eメールより手紙の方がいいとか、履歴書はパソコン作成より手書きのほうが人柄が表れて良いなどというどちらかというとアナログは温かみがあり、デジタルは冷たいという「アナログ信仰」があるのではないと思っています。デジタルデータには情報流出などのセキュリティの問題も懸念される場所ですが、今後もデジタル技術を活用するという方向性は変わらないでしょう。

私の専門分野でも、最近ではスマートウォッチに不整脈の検出機能がついていたり、呼吸状態を評価できる酸素飽和度の測定も可能となってきています。スマートウォッチを用いた疾患の予測も将来は可能となるでしょう。最近では小学生からプログラミング教育が始まったと聞きます。私が小学生のころとは全く違う世界が広がっています。今では高齢者の方々のあいだでもスマホを持っている人たちは多くなりました。お年寄りだから、田舎に住んでいるから、教えてくれるひとがそばにいないからという理由でIT技術を遠ざけるのはとても残念なことだと思うのです。

手書きの良さ、手作りの良さというものは確かにありますし、その良さを否定するつもりはありませんが、みんなでデジタル技術の利便性を活用しながら社会全体をより豊かなものとしたいものです。新型コロナウイルスのワクチン接種がようやく開始されましたが、いまだ接種の予約システムや配給システムにおいて混乱しているようです。誰も公平でスピーディー、かつ資源の無駄のない方法での接種が一刻も早く実現できるように、私もその方法について考えていきたいと思っています。